

景況レポート

2025年
秋号

Contents

1. 第90回伊勢崎佐波地区中小企業景気動向調査
2. 第201回特別調査
「不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営」
3. 企業紹介
平井産業運輸有限公司



アイオー信用金庫

〒372-8666
群馬県伊勢崎市中央町20番17号
TEL: 0270-30-5001



伊勢崎商工会議所

〒372-0014
群馬県伊勢崎市昭和町3919
TEL: 0270-24-2211

I 全業種 (回答365社…回答率99.1%)

業況判断D.I.は、小幅悪化、来期もわずかながら悪化の予想

●今期 (2025年7～9月期) の業況

今期の全業種の業況判断D.I.は△0.8と、前期との比較で3.3ポイント下回り、小幅悪化となりました。

項目別の業況判断D.I.では、売上高は8.0 (前期比+4.5)、資金繰りは△5.8 (前期比△6.9)、採算△7.1 (前期比△3.6)、従業員△1.9 (前期比△1.6)と売上高が改善しているほかは、悪化しています。

業種別の業況判断D.I.は、製造業は改善していますが、他の業種は悪化しています。

独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他2団体が実査した全国調査 (以後「全国調査」という。)との比較では、全業種の業況判断D.I.で全国調査を16.0ポイント上回りました。業種別では、全ての業種で全国調査を大幅に上回る結果となっています。

●来期 (2025年10～12月期) の業況

来期の業況判断D.I.の見通しは△3.3と今期との比較で2.5ポイント下回り、わずかながら悪化を予想しています。

項目別業況判断D.I.見通しでは、資金繰りはわずかながら改善する見込みですが、採算・従業員とも弱含み横ばい、売上は小幅悪化の見込みとなっています。

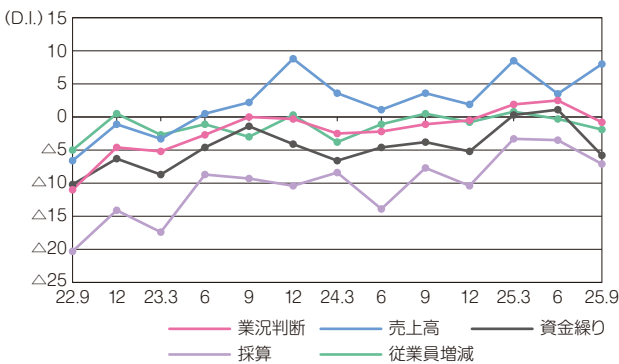
また、業種別の業況判断D.I.見通しでは、卸売業は小幅改善、小売業、サービス業はわずかながら改善、製造業、建設業・不動産業は悪化の見込みです。

■業種別天気図

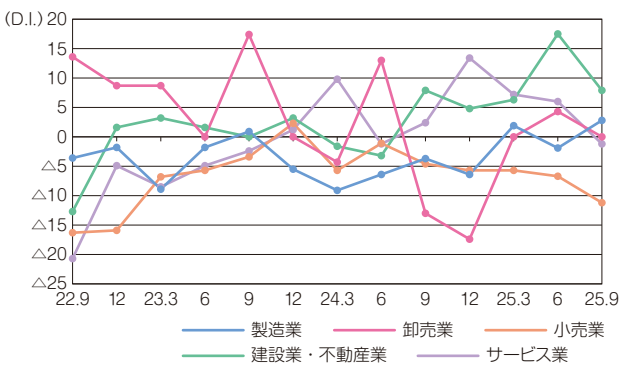
	前 期 2025年4～6月期	今 期 2025年7～9月期	来期予想 2025年10～12月期	全国調査 2025年7～9月期
全 業 種	 2.5	 △0.8	 △3.3	 △16.8
製 造 業	 △1.9	 2.8	 △4.6	 △19.6
卸 売 業	 4.3	 0.0	 4.3	 △15.1
小 売 業	 △6.7	 △11.2	 △10.1	 △26.2
建 設 業 不動産業	 17.5	 7.9	 1.6	 △9.4
サービス業	 6.0	 △1.2	 0.0	 △11.1



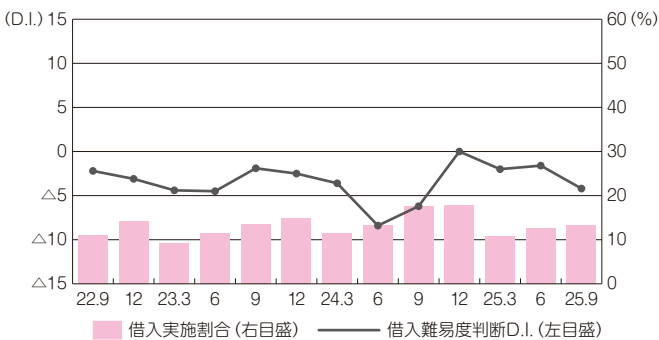
■項目別業況判断D.I.



■業種別業況判断D.I.



■借入実施割合・借入難易度D.I.



Ⅱ 製造業 (回答108社…回答率99%)

■景況

今期の業況判断D.I.は2.8と、前期との比較で4.7ポイント改善しています。全国調査との比較では、業況判断D.I.で22.4ポイント上回りました。

業種別にみると、金属製品、印刷、機械器具は改善していますが、輸送機械、金属プレス・メッキは大幅に悪化、プラスチックは横ばいです。

項目別には、売上高、採算、設備操業率は改善していますが、資金繰りは悪化、原材料在庫、従業員は横ばいです。また、原材料仕入単価は小幅上昇しています。

来期の業況判断D.I.は△4.6と悪化を予想しています。項目別には設備操業率、資金繰りはわずかながら改善、売上高は小幅悪化、また、原材料仕入単価は低下の見込みです。

経営上の問題では、「原材料価格の上昇」が18.6%、「従業員の確保難」12.6%、「人件費の増加」10.8%「需要の停滞」10.4%となっています。

■業種別の状況

【輸送機械】

業況判断D.I.は、0.0と前期比10.0ポイントの大幅悪化となっています。来期は9.1と今期から9.1ポイント改善の見込みです。

項目別では、売上高、設備操業率は大幅に改善していますが、採算は大幅に悪化しています。原材料仕入単価は54.5と引続き高水準になっています。

経営上の問題点は、「従業員の確保難」19.2%、「原材料価格の上昇」「需要の停滞」がともに15.4%となっています。

【機械器具】

業況判断D.I.は、△9.1と前期比10.9ポイントの大幅な改善となりました。来期は△18.2と9.1ポイントの悪化が見込まれています。

項目別では、売上高は改善していますが、設備操業率は悪化しています。資金繰り、採算は強含み横ばいですが、原材料仕入単価は54.5と前期比24.5ポイント大幅上昇しています。

経営上の問題点としては、「製品単価の低下・上昇難」20.8%、「原材料費・人件費以外の経費の増加」16.7%、「原材料価格の上昇」「従業員の確保難」がともに12.5%となっています。

【金属製品】

業況判断D.I.は、△3.4と前期比1.1ポイントの改善となりました。来期の業況判断D.I.は、△10.3と6.9ポイントの悪化を見込んでいます。

項目別には、採算は改善していますが、売上高、設備操業率は悪化しています。また、原材料仕入単価は37.9と1.5ポイント上昇しています。

経営上の問題点については、「需要の停滞」18.8%、「原材料価格の上昇」15.9%、「従業員の確保難」13.0%となっています。

【金属プレス・メッキ】

業況判断D.I.は、△8.3と前期比16.0ポイントの大幅悪化となっていますが、来期は△25.0と更に大幅な悪化が見込まれています。

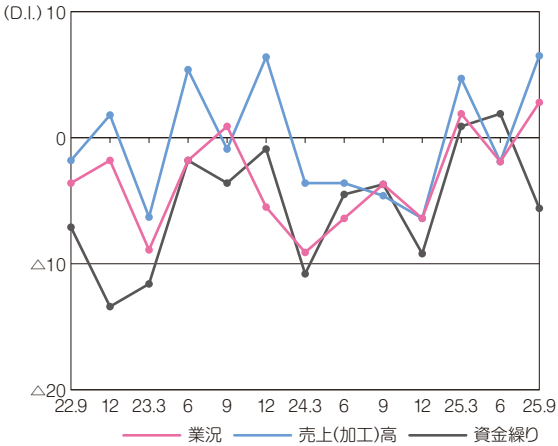
項目別には、設備操業率は改善していますが、売上高、採算、資金繰りは悪化しています。また、原材料仕入単価は50.0と19.2ポイント上昇しています。

経営上の問題点については、「従業員の確保難」「熟練技術者の確保難」がともに16.1%、「原材料価格の上昇」、「人件費の増加」「製品単価の低下・上昇難」がともに12.9%となっています。

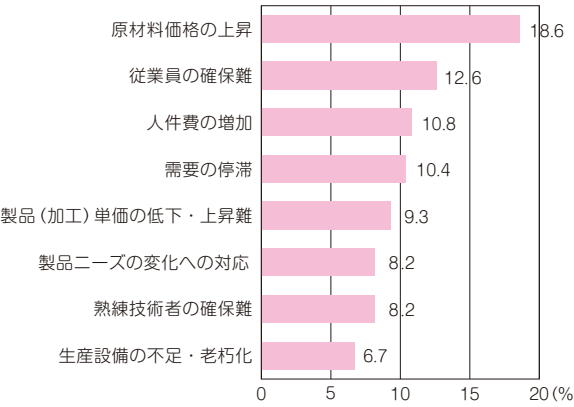
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 1.9	2.8	△ 4.6	△ 19.6
売上(加工)高	△ 1.9	6.5	1.9	△ 9.2
資 金 繰 り	1.9	△ 5.6	△ 4.6	△ 15.3
採 算	△ 6.5	△ 0.9	△ 7.4	△ 21.5
原材料仕入単価	41.7	46.3	37.0	64.8
原 材 料 在 庫	1.9	1.9	3.7	△ 6.1
従 業 員 増 減	2.8	2.8	△ 1.9	△ 5.2
設 備 操 業 率	△ 3.7	△ 0.9	1.9	△ 12.9

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点 (複数回答)



【印刷】

業況判断D.I.は、16.7と33.4ポイントの大幅改善となりました。来期の業況判断D.I.は0.0と16.7ポイントの大幅悪化の見込みです。

【プラスチック】

業況判断D.I.は、0.0と前期比横ばいとなりました。来期の業況判断D.I.は11.1と大幅改善の見込みです。

Ⅲ 卸売業 (回答23社…回答率100%)

■景況

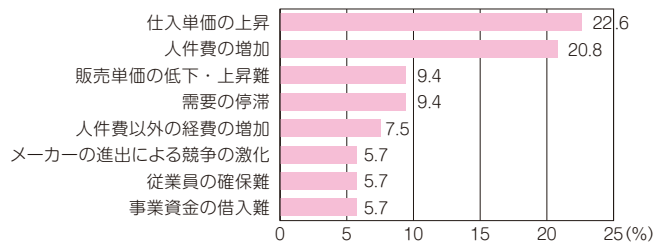
今期の業況判断D.I.は0.0と前期との比較では4.3ポイントの小幅悪化となりました。来期は4.3と小幅改善の見込みです。全国調査との比較では、業況判断D.I.で15.1ポイント上回りました。

項目別では、売上高、採算ともに改善していますが資金繰りは悪化しています。また、売上単価、仕入単価は上昇しています。

経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」が22.6%、「人件費の増加」20.8%、「販売単価の低下・上昇難」「需要の停滞」がともに9.4%となっています。

業種別では食料・飲料卸売業の今期の業況判断D.I.は△16.7と前期比33.4ポイントの大幅な悪化となっています。来期は0.0と16.7ポイントの大幅な改善見込みとなっています。

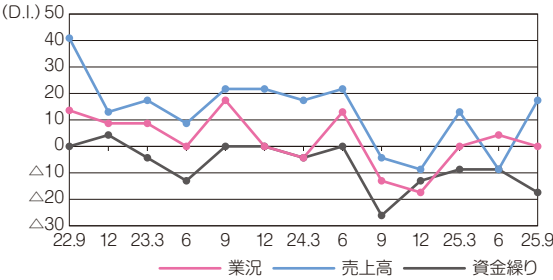
■経営上の問題点 (複数回答)



(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	4.3	0.0	4.3	△ 15.1
売 上 高	△ 8.7	17.4	30.4	△ 5.6
資 金 繰 り	△ 8.7	△ 17.4	△ 4.3	△ 9.4
採 算	△ 13.0	△ 8.7	0.0	△ 15.2
売 上 単 価	30.4	43.5	39.1	41.9
仕 入 単 価	47.8	52.2	47.8	68.7
在 庫 数 量	0.0	8.7	13.0	△ 8.1
従 業 員 増 減	0.0	4.3	4.3	△ 1.2

■主要業況判断D.I.の推移



Ⅳ 小売業 (回答89社…回答率100%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△11.2と前期比4.5ポイント悪化しています。全国調査との比較では、業況判断D.I.で15.0ポイント上回っています。

項目別では売上高は改善していますが、資金繰り、採算ともに小幅悪化しています。また、客単価、仕入単価ともに低下しています。

来期の業況判断D.I.は△10.1と1.1ポイントわずかながら改善の見込みです。

経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」が20.0%、「消費者ニーズの変化への対応」16.4%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」13.6%となっています。

■業種別の状況

【飲食料品小売業】

飲食料品小売業の業況判断D.I.は△10.0と前期比3.1ポイントの小幅悪化となりましたが、来期は△6.7と3.3ポイント小幅改善の見込みです。

項目別には売上高は大幅な改善となっていますが、採算は悪化しています。また、客単価は横ばい、仕入単価は低下していますが53.3と依然高水準です。

経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」が25.0%、「消費者ニーズの変化への対応」13.9%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」「販売単価の低下・上昇難」がともに9.7%となっています。

【その他】

業況判断D.I.は、家電は改善していますが、燃料は横ばい、自動車販売、スポーツ・文具、医薬品・化粧品は悪化しています。

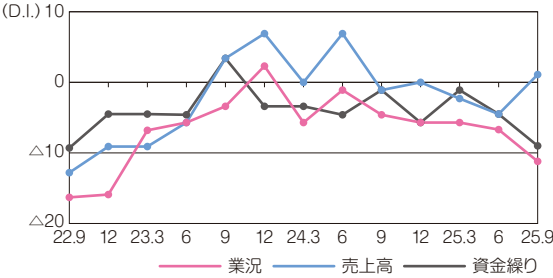
来期は、家電、スポーツ・文具は改善の見込みですが、自動車販売、医薬品・化粧品、燃料は横ばいの見込みです。

経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」、「消費者ニーズの変化への対応」「大型店・中型店の進出による競争の激化」「人件費以外の経費の増加」が主なものとなっています。

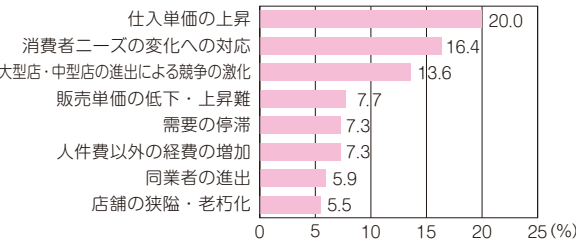
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 6.7	△ 11.2	△ 10.1	△ 26.2
売 上 高	△ 4.5	1.1	2.2	△ 17.8
資 金 繰 り	△ 4.5	△ 9.0	△ 7.9	△ 20.2
採 算	△ 12.4	△ 15.7	△ 16.9	△ 28.8
客 単 価	13.5	7.9	4.5	0.8
仕 入 単 価	55.1	49.4	49.4	65.4
在 庫 数 量	3.4	△ 3.4	△ 2.2	△ 14.1
従 業 員 増 減	△ 3.4	△ 9.1	△ 5.6	△ 4.3

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点 (複数回答)



V 建設業・不動産業 (回答63社…回答率100%)

■景況

今期の業況判断D.I.は7.9と、前期比9.6ポイント悪化し、全国調査比では17.3ポイント上回りました。来期の業況判断D.I.は1.6と6.3ポイント悪化見込みです。

項目別では、売上高は改善していますが、資金繰り、採算、受注額ともに悪化しています。また、材料単価は64.5と小幅ながら3.2ポイント上昇しています。

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」が21.0%、「従業員の確保難」「民間需要の停滞」「人件費の増加」がともに10.8%となっています。

■業種別の状況

【総合工事】

業況判断D.I.は、9.1と前期比7.6ポイント悪化しました。来期は9.1と横ばいが見込まれています。

項目別には、売上高は改善していますが、資金繰り、採算、受注額ともに悪化しています。一方、材料単価は72.7とさらに上昇しています。

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」が24.2%、「民間需要の停滞」9.9%、「人件費の増加」8.8%となっています。

【設備工事】【職別工事】【不動産】

設備工事業の業況判断D.I.は、30.0と前期比10.0ポイントの悪化となっています。来期は10.0とさらに20.0ポイントの大幅悪化見込みです。

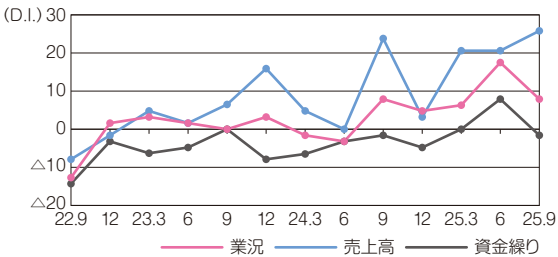
職別工事業の業況判断D.I.は、△14.3と前期14.3ポイントの大幅悪化となりました。来期は△14.3と横ばいの見込みです。

不動産業の業況判断D.I.は、0.0と前期比15.4ポイント大幅悪化しています。来期は△15.4と引続き大幅悪化の見込みです。

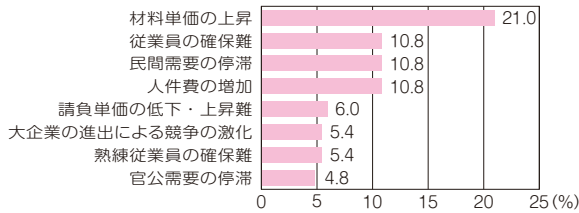
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	17.5	7.9	1.6	△ 9.4
売 上 高	20.6	25.8	12.9	△ 10.4
資 金 繰 り	7.9	△ 1.6	△ 3.2	△ 6.4
採 算	11.1	△ 9.5	△ 4.8	△ 19.9
受 注 額	23.8	9.5	4.8	△ 10.7
材 料 単 価	61.3	64.5	50.0	73.4
従 業 員 増 減	△ 3.2	0.0	0.0	△ 4.5

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点 (複数回答)



VI サービス業 (回答82社…回答率97.6%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△1.2と前期比で7.2ポイント悪化していますが、全国調査との比較では、業況判断D.I.で9.9ポイント上回りました。

項目別では、売上高、資金繰り、採算とともに悪化しています。また、客単価は低下、仕入単価は上昇しています。

来期の業況判断D.I.は0.0とわずかながら1.2ポイントの改善を予想しています。

経営上の問題点は「材料等仕入単価の上昇」15.4%、「消費者ニーズの変化への対応」13.3%、「人件費以外の経費の増加」12.3%となっています。

■業種別の状況

【自動車整備】

業況判断D.I.は、10.0と前期比4.7ポイント改善していますが、来期は5.0と5.0ポイントの悪化が見込まれています。

項目別では、売上高は改善していますが、資金繰り、採算とも横ばいです。客単価は低下、仕入単価は上昇しています。

経営上の問題点は、「材料等仕入単価の上昇」19.6%、「消費者ニーズの変化への対応」13.7%、「人件費以外の経費の増加」「従業員の確保難」がともに11.8%となっています。

【洗濯・理容】

業況判断D.I.は、△20.0と前期比8.6ポイント改善しています。来期は△20.0と横ばいの見込みです。

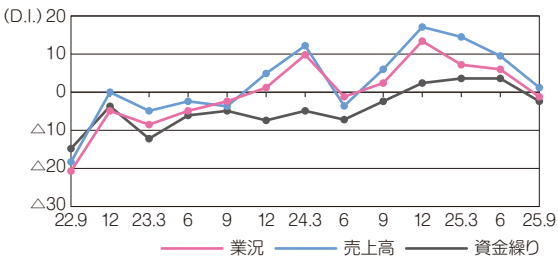
項目別では、売上高、採算、資金繰りともに改善しています。また、客単価は低下、仕入単価は大幅に上昇しています。

経営上の問題点は、「新規参入業者の進出」21.4%、「大企業の進出による競争の激化」「消費者ニーズの変化への対応」「人件費以外の経費の増加」「利用料金の低下・上昇難」がともに14.3%となっています。

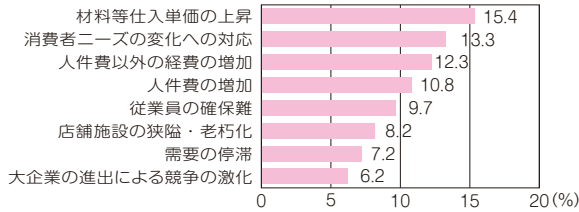
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	6.0	△ 1.2	0.0	△ 11.1
売 上 高	9.5	1.2	△ 1.2	△ 1.3
資 金 繰 り	3.6	△ 2.4	△ 1.2	△ 9.9
採 算	1.2	△ 3.7	△ 3.7	△ 19.4
客 単 価	13.3	8.5	6.1	17.0
仕 入 単 価	36.1	39.5	30.9	69.4
従 業 員 増 減	1.2	△ 3.7	△ 2.5	△ 2.2

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点 (複数回答)

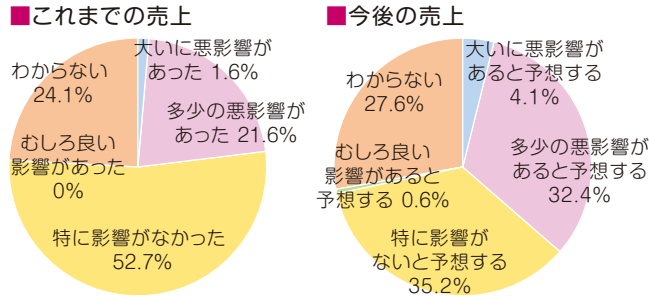


特別調査【不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営】

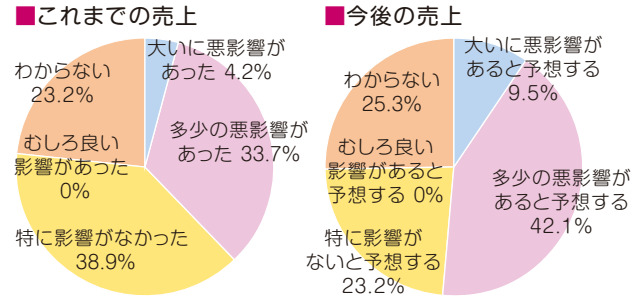
1. トランプ関税の影響

トランプ関税の影響については、全業種では、これまでの売上に関しては、「特に影響がなかった」が52.7%と過半を占め、「(大いにおよび多少を合わせ)悪影響があった」のは23.2%にとどまった。一方、今後の売上に関しては「(大いにおよび多少を合わせ)悪影響があると予想する」が36.5%に増加し、「特に影響がないと予想」は35.2%となりました。また、製造業に限ってみればこれまでの売上では、「(大いにおよび多少を合わせ)悪影響があった」のは37.9%、「特に影響がなかった」が38.9%でしたが、今後の売上に関しては、「(大いにおよび多少を合わせ)悪影響があると予想する」が51.6%と過半に達し、「特に影響がないと予想」は、23.2%でした。

【全業種】

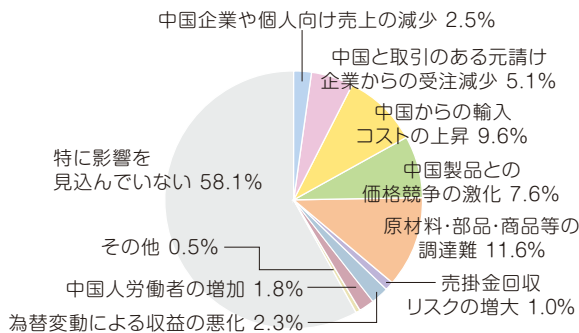


【製造業】



2. 中国経済の減速懸念

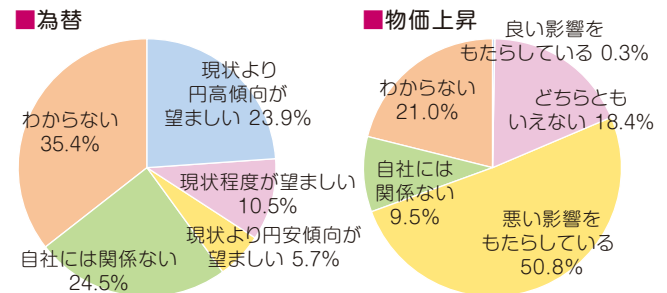
中国経済の減速による影響は、全体の41.9%が何らかの影響を見込む一方、「特に影響を見込んでいない」先が58.1%となりました。影響の内訳は、「原材料・部品・商品等の調達難」11.6%、「中国からの輸入コストの上昇」9.6%、「中国製品との価格競争の激化」7.6%と続いています。



3. 円ドル相場と物価上昇

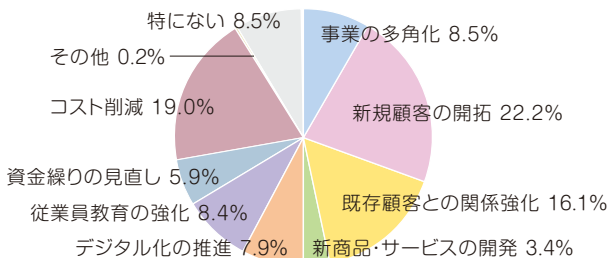
今後の為替相場は、「円高が望ましい」が23.9%、「現状が望ましい」が10.5%で「円安が望ましい」は5.7%でした。また、「関係ない・わからない」で59.9%と約6割でした。

物価上昇から受ける影響は「悪影響」が50.8%で過半を占めており、「どちらともいえない」18.4%となっています。「関係ない・わからない」が30.5%ありますが、「良い影響」とした先は0.3%だけでした。



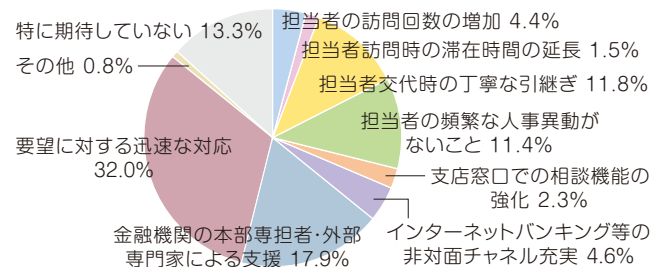
4. 経営面での見直し

経済社会情勢の不透明感をうけて経営面で今後見直したい取組みについては、「新規顧客の開拓」が22.2%と最も多く、以下「コスト削減」19.0%、「既存顧客との関係強化」16.1%、「事業の多角化」8.5%、「従業員教育の強化」8.4%、「デジタル化の推進」7.9%と見直し項目は多岐にわたりました。



5. 地域金融機関の体制面への要望

地域金融機関の体制面への要望については、「要望に対する迅速な対応」が32.0%と最も多く、「本部専担者・外部専門家による支援」17.9%、「担当者交代時の丁寧な引継ぎ」11.8%、「担当者の頻繁な人事異動がないこと」11.4%となっています。また、「特に期待していない」は13.3%でした。



今回の調査について

【調査方法】

調査時期	2025年9月
調査内容	①今期の状況：前年の同時期(2024年7～9月期)と比較した今期(2025年7～9月期)の状況 ②来期の見通し：前年の同時期(2024年10～12月期)と比較した来期(2025年10～12月期)の状況
調査方法	アイオー信用金庫及び伊勢崎商工会議所の調査員による面談または聞き取り
対象企業	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の事業所

※毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

【調査対象企業数・回答企業数】

	調査対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	109	108	99.0%
卸売業	23	23	100%
小売業	89	89	100%
建設業・不動産業	63	63	100%
サービス業	84	82	97.6%
合計	368	365	99.1%

平井産業運輸有限公司



【安心と信頼を託される企業を目指して】

創業51年を迎えた私ども平井産業運輸有限公司は、安全第一を掲げ、お客様に満足いただける物流サービスを提供し、お客様の繁栄に少しでも寄与したいと考えております。おかげさまで創業以来多くの皆様にご愛顧いただき、多くの経験と技術、そしてノウハウを身につけていただきました。

変わりゆく社会状況、多様化するお客様のニーズに柔軟に対応する車両設備、重量物専用の倉庫を群馬県と静岡県に保有し、これからも、お客様、社員、協力企業、地域の皆様を大切に、安心と信頼を託される企業を目指し全社員と共に物流業に励んで参ります。

【一人一人が品質保証 - 運送のプロにお任せ下さい】

重量物・各種機械は特殊車両にて、運送と倉庫保管・重量物の組付け・工場移設は運送のプロ平井産業運輸にお任せ下さい。国内外に広がる協力企業にて、輸送・梱包・据付・海上輸送・海外輸送などのサービスを提供致します。中継積み替え拠点としてもご利用いただけます。

・重量物の運送部門：2tから4t、15t低床トレーラーで全国への運送を行っております。

・貸切り運送部門：専属のお客様に運送業務を行っている部門です。

・重量物倉庫：5tから80tまでの天井クレーンと除湿器を完備し、一定の湿度でお客様の製品をお預かりしております。



富士宮営業所

会社概要

設 立 1973 (昭和48) 年3月

代 表 者 代表取締役 磯 雄司

所 在 地 (本社) 伊勢崎市平井町1082番地

TEL 0270-62-4102

(富士宮営業所) 静岡県富士宮市北山7413番地

TEL 0544-54-3555

資 本 金 600万円

従業員数 70人

業務内容 一般区域貨物運送事業・自動車運送取扱業・倉庫業

ISO 9001:2015 認証登録番号: 00740

関連会社 平井交通有限公司、平井トラベル、ヒライテクノ物流有限公司

【交通安全宣言事業所】

平井産業運輸有限公司は、交通安全宣言事業所として、社員一丸となって安全運転に心がけています。

1. 当事業所の社員は、常に交通法規を守り地域環境への影響を常に認識しやさしい車両の運転に努めます。

1. 当事業所の社員は、運送のプロとして、又、社会人として絶対にマナーを守ります。

1. 当事業所の社員及び出入りする車両は、地域の皆様の交通安全を計るため常に安全教育を徹底し、以て交通事故の未然防止と社会との共生を図るための努力をすることを誓います。

1. 当事業所の社員は、車両運転に際しては他の模範となれる様一人一人が常に努力することを誓います。



【関連会社情報】

・平井交通有限公司

平井交通では貸切観光バスをはじめ、冠婚葬祭の送迎を行っております。常にお客様に喜ばれる、心のこもった最高のサービスを提供できるよう心がけ、安全運行を行っております。また、部活動・スポーツ団体などの送迎バスも行っております。どうぞお気軽にお問合せ下さい。

・平井トラベル

お客様にあった宿泊・日帰りコース作成、国内旅行手配業務を行っております。どうぞお気軽にお問合せ下さい。

中小企業経営者の
みなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

- 1 経営者のための**退職金制度**
- 2 掛金は**全額所得控除**
- 3 受取時も**税制メリット**

他にもこんな特徴があります。

- 月々の掛金は1,000円から
- 契約者貸し付けの利用が可能
- 共済金の受給権は差押禁止

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

- 1 掛金の10倍の範囲内で
最高8,000万円まで貸付け
- 2 貸付条件は
無担保・無保証人
- 3 掛金は税法上**損金(法人)**または
必要経費(個人事業)に

共済相談室 TEL. 050-5541-7171 【受付時間】平日 9:00~17:00



オンラインで
加入申込み
受付中

加入後の一部手続きもオンラインで可能。
制度の詳しい内容は2次元コード又はホームページからご確認ください。

小規模企業共済

経営セーフティ共済

小規模共済

検索

経営セーフティ共済

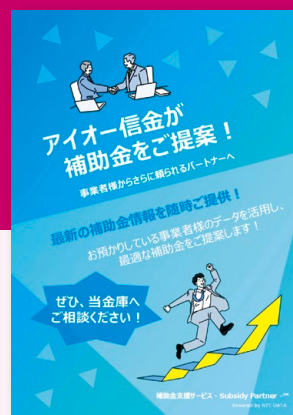
検索



2024.9

不易流行の地域支援 FIRST CALL BANK

「お客様に寄り添い、豊かな生活の実現に向けて、
地域から頼りにされ、一番に選ばれる金融機関」
私たちは、FIRST CALL BANKの実践に取り組み、
来る令和10年1月の創立100周年には、その確立を目指します。



補助金支援サービス



起業塾



新入社員研修会



アイオーフォーラム



アイオー信用金庫

